



CONTENTS

004 VISUAL IMPRESSIONS OF ROLEX

012 有竹重治インタビュー ロレックスを巡る冒険

021 第1章

オイスター・ノンパーペチュアル

022 オイスター・オクタゴン/026 オイスター・クッション/032 オイスター・バイセロイ
041 オイスター・エジプシャン/045 オイスター・アスリート/047 オイスター・アーミー
049 オイスター・スピードキング/057 オイスター・フラットバック
061 オイスター・サイエンティフィック/062 オイスター/081 オイスター・デイト

083 第2章

オイスター・パーペチュアル

084 オイスター・バブルバック/104 オイスター・フーデッド・バブルバック
108 オイスター・パーペチュアル/113 オイスター・パーペチュアル・デイト
117 オイスター・パーペチュアル・デイトジャスト/124 オイスター・クォーツ・デイトジャスト
125 オイスター・パーペチュアル・デイト/127 エアキング

133 第3章

スポーツモデル

134 エクスプローラーI/142 エクスプローラーII/144 ターノグラフ/146 サブマリーナ
151 シードウェラー/154 GMTマスター/160 クロノグラフ/162 デイトナ/166 ミルガウス

169 第4章

ノンオイスターケース

170 プリンズ・ブランカード/176 プリンズ・レールウェイ/180 プリンズ・エレガント
181 プリンズ・エアロダイナミック
182 レクタングュラー/192 ラウンド/218 ノンオイスター・パーペチュアル

221 第5章

チュードル/オイスター

222 チュードル/227 チュードル・レンジャー/228 チュードル・モンテカルロ
230 チュードル・アドバイザー/231 オイスター

168
ミリタリー

236
プレスレット

238
ボックス

ROLEX
LONDON ARI TAKE
COLLECTION

——いきなりなんですが、ロレックスの魅力を教えてください。

それは語っても、語っても、到底語り尽くせない。ただ、黙って座っていても仕方ないんで、話すことにしましょう(笑)。まあ、ロレックスといえば知らない人はいないだろうし、今更ではあるけどね。

ご存知の通り、オイスター・モデルはスクリューバックで、リュウズをねじ込み式でロックし、水、湿気、埃から機械を守る防水時計。これを1926年に開発しました。翌1927年にイギリスの記者、メルセデス嬢がドーバー海峡を泳いで渡ったとき、腕に着けていたのがこのロレックス・オイスター。それまでの水に弱いという腕時計の常識を覆し、水に強い腕時計という新しい概念を世界に知らしめた。このことは新聞、雑誌で大きく取り上げられ、世界の脚光を浴びたのは言うまでもありません。1933年には自動巻を、1945年には世界初のデイト付きのデイトジャストを発表します。

常に明日への技術にチャレンジする努力を惜しまない時計メーカーであることが、僕にとってロレックスの魅力の第一。その完全防水のオイスターは、90年以上経った現在でも、ムーブメントを見ると湿気も埃も無い素晴らしいコンディションであることに、何度も驚かされたことがあります。さらに豊富なケースデザイン、金、銀、スチール、金とスチー

ルのコンビネーションなどのマテリアルの使い方、フェイスのデザインの多種多様さ、いまだに新しい発見があるほどです。特に針とダイヤルのマッチングには当時の技術職人の計り知れない情熱が窺えます。

*

僕がロレックスに魅入られるようになるまで、いくつかの大切な出会いがありました。彼らがその魅力を教えてくれたんです。

これもその出会いの中のひとつですが、30年以上前、ブリックレーンというアンティーク・フェアに行ったときの話です。朝のまだ寒い時間、道端に白いバンが停まっていた。煙草を吸いながらふと車内を見ると、その助手席で何か動いている。なんだろうと目を凝らすと、子どもが震えていたんです。こんなところに子どもがと驚いていたら、父親が戻ってきた。「ダディ、コールドだよ、早く帰りたいよ」。ああ、可哀想だな。僕の人生でもいずれこんなことあるのかな、なんて思っていると、父親がジャンパーを脱いで子どもに掛けながら「売れないから、もうちょっと我慢してくれ」。そのあとその父親のストール(アンティーク・フェアの出店)に行ったら、キャンドルスタンドとか、靴べらとか、ごちゃごちゃ並んでいて、僕はそれらをまとめて買ってあげました。これが縁で、2、3週間経ってから「シギー(有竹氏の愛称)、お前、時計に興味あるか?」

と彼が。「わからない」って応えたら「これサザビーのオークション・カタログだよ」と、ボックス入りのカタログをくれました。

ちょっと風邪気味だったんで、早めに店に戻ってカタログを見ると、ちょうどその日がオークション当日だったんです。それで、とにかくサザビーに行ってみた。ジープとセーターのラフなスタイルで、中に入るとみんなびしょと決めていて、紳士と淑女の世界です。その中にイタリア人のジャコモという男がいて、時計をどンドンどンドンすごい勢いで買ってる。金額でいうと億ぐらい。うわっ、すごい世界だなんて。

それから店に戻ってぼーっとして、ふと気付くと目の前にさっきのジャコモが立っていました。びっくりして「握手してくれ」ってやるうちに親しくなって、コーヒーを出して「あんた偉いな、時計どンドン買って」と話してたら、彼が突然「お前、ロレックスやれ」って言うのね。「ロレックスなんて、そんなのわからないよ」と応えたら、彼はショーウィンドーの中のペトロールライターを指して「コレなんだ?」「ダンヒルのライター」「コレは?」「カルティエだよ」「コレは?」「デュボンだよ、有名じゃないか」。万年筆にもモンブランとか、ウォータマンとか、ペリカンとか、世界を代表するようなブランドがあって、時計の世界にはロレックスがある。「10年前にイタリア



Interview with **ロレックスを巡る** Shigeharu Aritake

有竹重治インタビュー

冒険

Photo / Yoshihisa Kumagai

The only WRISTLET watch in the World

that holds the **KEW "A" Especially Good CERTIFICATE** with 87.6 marks.

The ROLEX PRINCE

• Extract from letter, from the National Physical Laboratory, Teddington

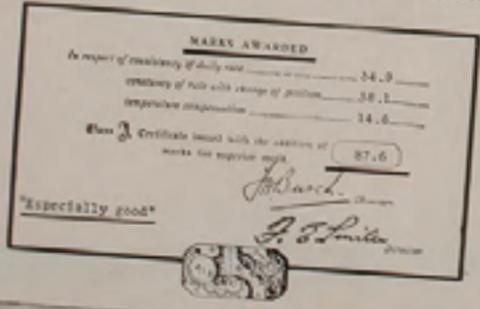
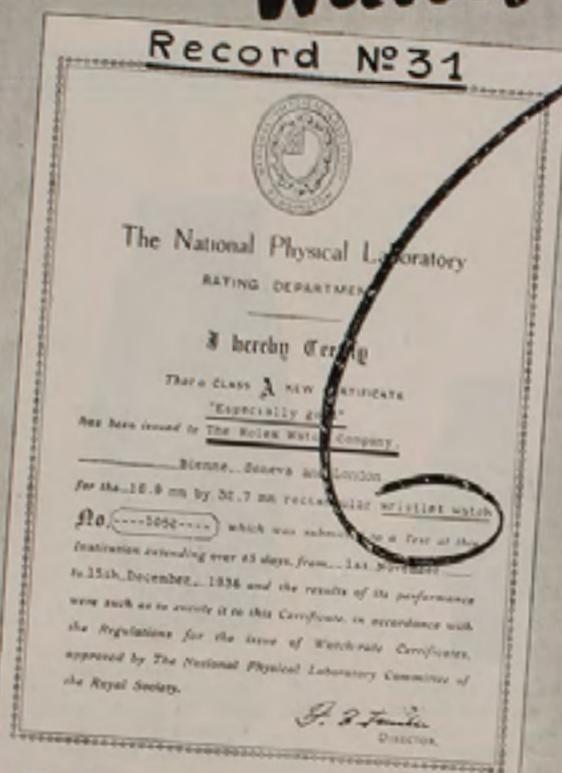
"We are pleased to inform you that the total number of marks, viz. 87.6 obtained by the rectangular shaped Rolex wrist watch No. 1052 in the Class "A" test which was carried out here in December, 1936, has not been equalled or exceeded by any other wrist watch during the last 20 years."

The daily variation with change of positions, over the full period of 45 days of test, amounting to one-quarter of a second, placed this small Wrist Watch Chronometer into the same class as Ship Chronometers and large Deck and Pocket watches, without any allowance being made for its small size.

The infinitely valuable experience gathered since the **FIRST KEW "A"** Observatory Certificate was obtained by ROLEX in 1914 accounts for the large number of World Records which they have gained, ranging in size from the tiny ROLEX "Princess" to the ROLEX "Prince".

We wish to recall to memory that 6½ line rectangular shaped ROLEX movements established World Records at the Observatories of Geneva, Neuchateal (Switzerland), Besançon (France) and Kew (England) with 85.6 marks in 1927. These records hold good to-day.

ROLEX WATCH CO. LTD. (H. Wilsdorf, Managing Director)
40-44 HOLBORN VIADUCT · LONDON · EC1
GENEVA · PARIS · BUENOS AIRES



ROLEX Wristlet Watches

27 World WRISTLET Watch Records



オイスター・スピードキング Kew "A"

Ref.5056 / Cal.Kew A SS

その存在があまり知られていない、非常に数が少なく見かける機会のない超稀少なコンクール用特別モデル。イギリスのキュー天文台検定を通過できた180個程度に与えられた、当時としてメーカー史上最高のムーブメント。/1947年





オイスター・パーペチュアル バブルバック

Ref.2764 / Cal.NA SS

ローマ数字とアラビア数字のインデックスを上下で使い分けたユニークダイヤル。メルセデスハンドとの組み合わせがインパクトあり、大人気。リテラーとのWネーム。/1941年



オイスター・パーペチュアル バブルバック

Ref.3130 / Cal.NA 18KYG

3, 9, 12にローマン数字を用いた箱押しブリントのデザイン。バトンハンドとの直線的でシンメトリックな表情のアールデコデザイン。/1936年



オイスター・パーペチュアル バブルバック

Ref.5052 / Cal.NA SS

外周に夜光サビと内側にアラビック3, 9, 12をマークし、間にエンボスでドットを配した非常に珍しい組み合わせのデザイン。/1949年



オイスター・パーペチュアル バブルバック

Ref.3130 / Cal.NA 9KYG

二重ミニッツレールのハチマキとアラビックインデックスデザイン。初期に見られるアールデコデザインとスモールセコンドの組み合わせは人気が高く稀少。/1936年



[1953年発表]

この時計ほど、マイナーチェンジを繰り返しているモデルは他にない。ロレックス社の王道を築き上げたといっても過言ではないだろう。誕生と同時に100m防水機能を搭載したサブマリーナは、スイスの腕時計会社や一般ユーザーを驚かせた。単に防水性だけでなく、水圧に耐えられるケース構造、ここにロレックス社の技術工は切磋琢磨な努力を惜しまなかった。特に赤いロゴのサブマリーナは人気が高い。ブラックダイヤルの中のこの赤い1点に目が奪われる。この30年間での凄まじい値上がり……、私のような凡人はついていけない。

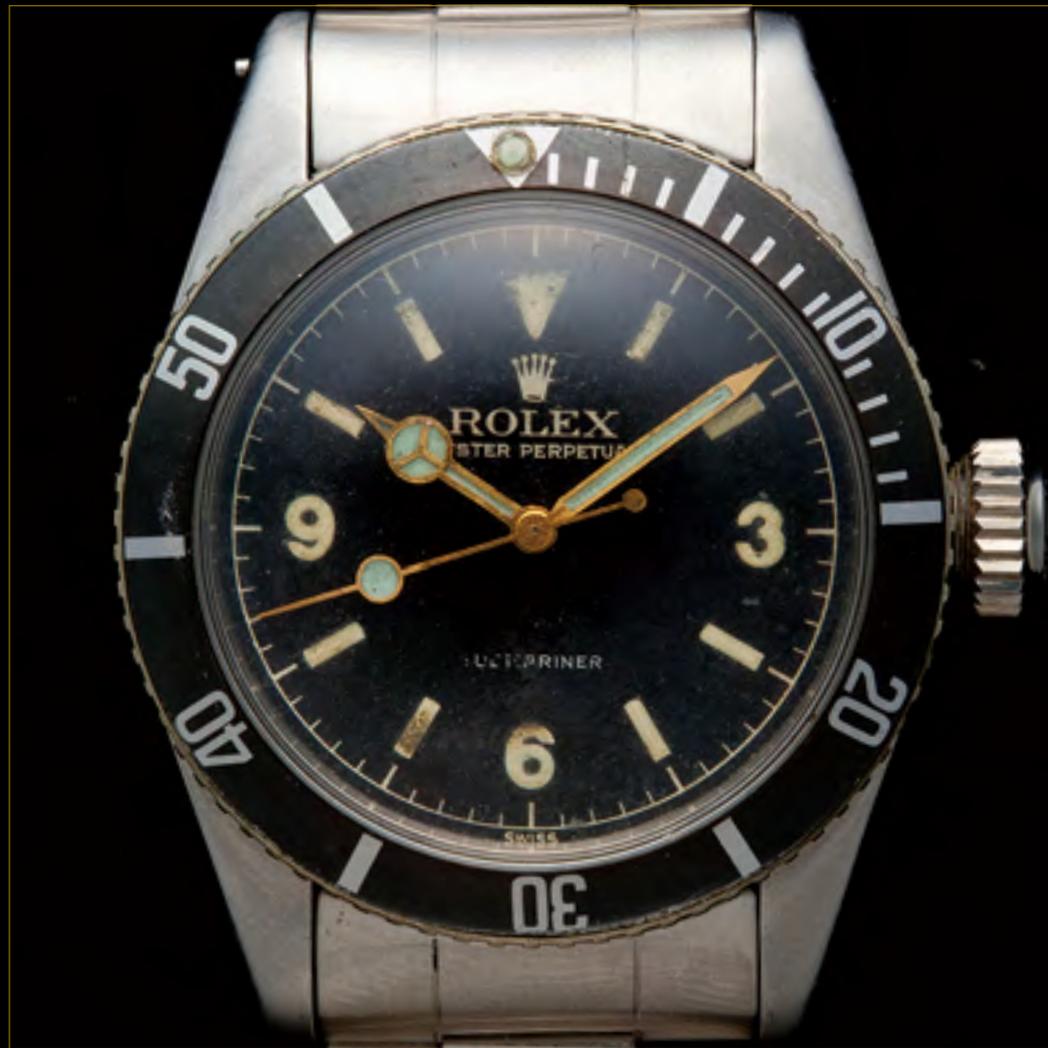
Submariner



サブマリーナ

Ref.6536/1 / Cal.1030 SS

1950年代初期のモデル一番の特徴は後年モデルから付加されたリュウズを衝撃から守るリュウズガードがないガードレスであること。非常にスマートな印象を受ける。／1956年Ⅱ期



サブマリーナ

Ref.6200 / Cal.A296 SS

ファーストモデルと目されるひとつ。3,6,9インデックスの通称エクスプローラーデザインと8mmビッグリュウズは特徴的ディテール。まだ深度も表記されていない。／1950年代



Prince Elegante

[1920年代-1940年代] 直線のシャープさを重視した形状で、デザインにアールデコの影響を強く受けたモデル。



▲ プリンス・エレガント カーベックス

Ref.3059 / Cal.H.W. 9KYG

秒針が独立していないが当時プリンスの一種として作られたエレガント。その中でも腕に沿うようケースが湾曲させられた特殊で稀少な1本、英国王室御用達百貨店フォートナム&メイソン録のWネーム。 / 1930年代



Prince Aerodynamic

[発表年不明] プリンス特有の長方形を生かし、時計機能を上半分に集約、下半分にはイニシャル等エングレービングが施せるようなスペースを設けた派生モデル。それにより個人用の特注タイプとなる。



▲ プリンス・エアロダイナミック

Ref.3361 / Cal.T.S. 18KYG

左同様、プリンスの一種として作られたモデル。上半分に時計機能がまとめられたセンターセコンド仕様。ドットとクサビのアブライド。スペースの問題で3、9が内側に配された変則的な面白いデザイン。 / 1930年代

